

(博士前期課程) 情報科学研究科 情報科学専攻 アドミッション・ポリシー

研究科・専攻ポリシー

情報科学研究科では、情報分野において高い専門性を必要とする業務を遂行するために必要な能力、およびその基礎となる学識を養い、時代の要請を的確に把握し、国際的に活躍できる高度情報技術者ならびに高度専門職業人の養成を教育理念としており、この理念に沿った学生を受け入れます。

<求める人物像>

- 情報分野における高度な専門的知識や実践的技術の修得をめざす人
- 情報分野の第一線で活躍する研究・開発者をめざす人
- 進取の気性に富み、国際的な活動や起業家精神を生かした活動をめざす人
- 能動的に学修や研究、実践的活動を遂行できる人

入学前に学修しておくことが期待される内容

情報科学専攻に入学するまでに、以下に記した能力を身に付けておくことが望ましい。

- 高度な専門的能力を修得するために必要な学力と思考力を有すること
- 情報科学の体系的な専門知識とプログラミングを含む実践的技術を有し、課題解決に応用できること
- 数学は微積分学、線形数学、統計学を修得し、情報分野で求められる問題解決に応用できること
- 日本語に加えて英語による基本的なコミュニケーション能力を有していること

学内進学選考

学士課程の共通科目、専門科目の全てを総合して、特に優れた成績を修めることが必要である。また、明確な情報科学専攻への志向、勉学意欲、研究内容などに関して面接試問で評価する。

一般入試

情報科学の基礎科目（数学）、プログラミング（C言語）と専門科目の筆記試験、英語[TOEIC（オンライン受験による点数は受け付けない）の得点]、研究内容に関する面接試問の総合点で評価する。

社会人入試

面接試問では社会人としての経験と勉学意欲、基礎学力、研究内容に関して評価する。

外国人留学生入試

面接試問では情報科学に関する基礎学力、日本語と英語の基本的なコミュニケーション能力、研究内容に関して評価する。